

総合評価落札方式に関する技術資料

令和 年 月 日

可児市長 富田 成輝 様

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電話番号

(作成担当者名 : )

注) 電子入札システムにより提出する場合は、代表者印を省略できるものとする。

令和4年9月5日付けで公告のありました「令和4年度 市道27号線舗装修繕工事」の入札に関する技術資料を下記のとおり提出します。

なお、提出する書類の内容は、事実と相違ないことを誓約します。

記

- ① 施工能力・企業能力（申請様式2-1号）
- ② 配置予定技術者の能力（申請様式2-2号）
- ③ 地域要件（申請様式2-3号）

※ 入札参加申請の時点では確認資料の添付は必要ありません。

ただし、入札執行後、落札候補者の方は市が指定する日までに確認書類を提出してください。なお、提出が間に合わない場合は、入札が無効となります。

※ 技術資料に虚偽の記載をした場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき参加資格の停止となりますので、十分ご注意ください。

※ 「総合評価落札方式に関する技術資料の提出要領(特別簡易型)」を確認の上、作成してください。

## 施工能力

評価項目	評価内容	記載事項	備考(確認資料)
工程管理			
安全対策	事故等の防止の喚起と客観的指標で安全対策の実施可能性	<input type="checkbox"/> 過去に労働安全衛生分野表彰歴があり、かつ直近1か年度に県・可児市からの工事事故等による資格停止措置なし <input type="checkbox"/> 過去に上記表彰歴はないが上記指名停止措置もない、若しくは上記表彰歴があり上記指名停止措置もあり <input type="checkbox"/> 過去に労働安全衛生分野表彰歴がなく、かつ直近1か年度に県・可児市からの工事事故等による資格停止措置あり	表彰歴を証明できる書類
品質管理			
環境配慮	ISO認証取得の状況	<input type="checkbox"/> ISO9000S 並びに 14001 取得済み <input type="checkbox"/> ISO9000S 又は 14001 取得済み <input type="checkbox"/> 取得なし	認証書の写し

## 企業能力

評価項目	評価内容	記載事項	備考(確認資料)										
工事成績評定点	直近3か年度に完成引き渡しの済んだ舗装工事の工事成績評定点の平均点	(記入不要) 点 (発注者側にて記載)											
同種工事施工実績	直近15か年度に完成引き渡しの済んだ工事の施工実績の有無 ※工事成績 65 点未満のものは実績として認めない。	<input type="checkbox"/> 請負金額 1,000 万円以上の舗装工事の実績あり (代表的な1工事を記載する) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>発注者名</th> <th>施工場所</th> <th>契約金額(最終税込)</th> <th>工期(最終)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>年 月 ～ 年 月</td> </tr> </tbody> </table> <input type="checkbox"/> 実績なし	工事名	発注者名	施工場所	契約金額(最終税込)	工期(最終)					年 月 ～ 年 月	• 工事実績情報システム(CORINS)の工事カルテの写し又は該当工事を証明する書類(契約書、竣工承認書) • 工事成績が確認できる書類 ※受注形態がJVの場合は、出資比率を記載すること
工事名	発注者名	施工場所	契約金額(最終税込)	工期(最終)									
				年 月 ～ 年 月									

注1)□又は■ のように記入する。

2)記載事項の基準日は公告日とすること。

## 可児市総合評価落札方式 申請様式2-2

会社名:

## 配 置 予 定 技 術 者 の 能 力(2人まで記載可)

【配置予定技術者(1)】		氏名(ふりがな):															
評価項目	評価内容	記載事項				備考(確認資料)											
同種工事施工実績	直近15か年度に完成引き渡しの済んだ工事の施工実績の有無 ※工事成績65点未満のものは実績として認めない。	<input type="checkbox"/> 請負金額1,000万円以上の舗装工事の実績あり(代表的な1工事を記載する) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>発注者名</th> <th>施工場所</th> <th>契約金額(最終税込)</th> <th>工期(最終)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>円 年 月 ～ 年 月</td> </tr> </tbody> </table>					工事名	発注者名	施工場所	契約金額(最終税込)	工期(最終)					円 年 月 ～ 年 月	•工事実績情報システム(CORINS)の工事カルテの写し又は該当工事を証明する書類(契約書、竣工承認書) •工事成績が確認できる書類 ※受注形態がJVの場合は、出資比率を記載すること
		工事名	発注者名	施工場所	契約金額(最終税込)	工期(最終)											
				円 年 月 ～ 年 月													
<input type="checkbox"/> 実績なし																	
保有資格	主任(監理)技術者の保有する資格	<input type="checkbox"/> 1級土木施工管理技士又は技術士(建設又は総監)又は1級舗装施工管理技術者					資格認定証明書(資格者証)の写し										
		<input type="checkbox"/> 2級土木施工管理技士															
		<input type="checkbox"/> 上記以外(実務経験など)															

【配置予定技術者(2)】		氏名(ふりがな):					
評価項目	評価内容	記載事項					備考(確認資料)
同種工事施工実績	直近15か年度に完成引き渡しの済んだ工事の施工実績の有無 ※工事成績65点未満のものは実績として認めない。	<input type="checkbox"/> 請負金額1,000万円以上の舗装工事の実績あり(代表的な1工事を記載する)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事実績情報システム(CORINS)の工事カルテの写し又は該当工事を証明する書類(契約書、竣工承認書)</li> <li>・工事成績が確認できる書類</li> </ul> <p>※受注形態がJVの場合は、出資比率を記載すること</p>
		工事名	発注者名	施工場所	契約金額(最終税込)	工期(最終)	
					円	年 月 ～ 年 月	
		<input type="checkbox"/> 実績なし					
保有資格	主任(監理)技術者の保有する資格	<input type="checkbox"/> 1級土木施工管理技士又は技術士(建設又は総監)又は1級舗装施工管理技術者 <input type="checkbox"/> 2級土木施工管理技士 <input type="checkbox"/> 上記以外(実務経験など)					

注1) □又は■ のように記入する。

2)記載事項の基準日は公告日とする。

## 地 域 要 件

評価項目	評価内容	記載事項	備考(確認資料)
災害協定参加等	可児市と災害協定締結の有無	<input type="checkbox"/> 可児市と災害協定を締結している	確認書類不要
		<input type="checkbox"/> 上記締結なし	
消防団員雇用	可児市消防団員の雇用の有無	<input type="checkbox"/> 可児市消防団員の雇用あり(公告日において雇用があること)	可児市消防団員の確認ができる書類
		<input type="checkbox"/> 上記雇用なし	
女性の進出	建設工事に関する女性技術者を1人以上の雇用の有無	<input type="checkbox"/> 建設工事に係る女性の技術者の雇用あり(公告日において雇用があること)	技術者の資料を証する合格証の写しや実務経験経歴書など
		<input type="checkbox"/> 上記雇用なし	
技術者育成	建設工事に関する若手技術者(40歳以下)を1人以上の雇用の有無	<input type="checkbox"/> 建設工事に係る若手技術者(40歳以下)の雇用あり(公告日において雇用があること)	技術者の資料を証する合格証の写しや実務経験経歴書など (生年月日が確認できること)
		<input type="checkbox"/> 上記雇用なし	

注1) □又は■ のように記入する。

2) 記載事項の基準日は公告日とすること。

3) 女性技術者と若手技術者が同一人である場合は、どちらか一方で申請すること。